

在セネガル日本国大使館月報

2025年5月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 28日、政治システムの改革を議題の中心とする年次国民対話が開会し、ファイ大統領は政治的立場を超えて政治改革を推進していく必要性を訴えた。(30日 Le Quotidien)

(外政)

- 12日、ファイ大統領はコートジボワールで開会したアフリカ CEO フォーラムに出席。マージンでウワタラ・コートジボワール大統領、ガズワニ・モーリタニア大統領と面談。(12日 大統領府 X)

(日本関連)

- 日本政府は、元国費留学生でセネガル・日本友好協会の会長パパ・マガット・ゲイ氏に叙勲した。(3日 Le Soleil)

(経済)

- 27日、ソンコ首相は2025年10月7-8日に予定されている第2回セネガル投資フォーラムのローンチ式に出席し、ビジネス環境を改善していく意思を示した。(28日 Le Soleil)

ガーボベルデ

- コレイア・エ・シルヴァ首相がカーボベルデ独立50周年を記念して27日から29日まで世界銀行の招待によりワシントンを訪視することが公表された。バンガ世界銀行総裁、ゲオルギエバIMF専務理事との会談が予定されている。(25日 Expresso das Ilhas)

ガンビア

- 17日、バロウ大統領は、西海岸と大バンジュール地方の100万人を超える住民への水供給事業の開始式に出席。同事業は5, 910万ユーロに及び、フランス開発庁の支援で実施される。(19日 The Point)

ギニアビサウ

- エンバロ大統領は6日から10日にかけて、ベラルーシ、ロシア、大阪を訪視することを公表。9日にはモスクワで対独戦勝記念パレードに出席し、10日大阪では大阪・関西万博2025のナショナル・デーに出席する。(6日 O Democrata)

セネガル

(内政)

内政一般

- 専門家による調査コンサルティンググループ Gires Consulting は、ファイ大統領政権1年の満足度調査の結果を公表。調査対象となったセネガル人の11. 5%が大満足、23. 3%が満足、46. 8%が普通と回答。(5日 Le Soleil)
- 28日、政治システムの改革を議題の中心とする年次国民対話が開会し、ファイ大統領は政治的立場を超えて政治改革を推進していく必要性を訴えた。(30日 Le Quotidien)

(外政)

二国間・多国間関係

- 3日、ファイ大統領はガボンのオリギ・ンゲマ大統領の就任式に出席。(5日 Le Soleil)
- 7日、ファイ大統領は、アデシナ・アフリカ開発銀行総裁を迎え、政府アジェンダ「セネガル2050」について協議。(7日 大統領府 X)
- 5日、ファル外務大臣はチャポ・モザンビーク大統領を表敬。6日、マダガスカルを訪問し、ラサタ外務大臣と会談。7日、マラウイのチャクウェラ大統領を表敬。8日、ナミビアのナンディ＝ンダイトワ大統領を表敬。10日、ケニアのルト大統領を表敬。(5～10日 外務省 X)
- 12日、ファイ大統領はコートジボワールで開会したアフリカ CEO フォーラムに出席。マージンでウワタラ・コートジボワール大統領、ガズワニ・モーリタニア大統領と面談。(12日 大統領府 X)
- 16日、ソンコ首相はブルキナファソを訪問し、トラオレ暫定大統領と会談。テロ対策分野でブルキナファソとの協力を続けていく旨発言(20日 Le Soleil)
- 19日、ジョップ国防大臣はマリを訪問し、ゴイタ暫定大統領を表敬。マリとの建設的な関係構築に尽力するとのファイ大統領のメッセージを転達。(20日 Le Soleil)
- 26日、ファイ大統領はギニアビサウを訪問し、エンバロ大統領と会談。(27日 Le Soleil)
- 29日、ソンコ首相はコートジボワールを訪問し、マンベ首相と貿易、治安情勢について協議。ウワタラ大統領を表敬訪問し、地域情勢について協議。(31日 Le Soleil)

日本関連

- 日本政府は、元国費留学生でセネガル・日本友好協会の会長パパ・マガット・ゲイ氏に叙勲した。(3日 Le Soleil)
- 15日、無償資金協力「ジョアール・ファデュトゥにおける水産物付加価値向上のための改良型水揚場整備計画」の起工式が開催され、赤松大使及びジュフ漁業大臣が出席。(16日 APS)

(経済)

経済一般

- 8日、持続可能な都市交通評議会の議長は、交通渋滞、道路の安全性の欠如、騒音、大気汚染によってセネガルは年間9千億FCFA分の経済的損失を被っているとの見解を示した。(9日 Walf Quotidien)
- 27日、ソンコ首相は2025年10月7-8日に予定されている第2回セネガル投資フォーラムのローンチ式に出席し、ビジネス環境を改善していく意思を示した。(28日 Le Soleil)
- 29日、アフリカ開発銀行の総裁選に立候補したアマドゥ・ホット元セネガル経済大臣は、同選挙にて3位に終わった。(30日 Le Quotidien)

(社会)

- 2日、国境なき記者団は2024年報道の自由ランキングを公表し、セネガルは世界74位に位置づけられた(昨年から20位上昇)。(3日 Le Soleil)

カーボベルデ

- 5日、ネーヴェス大統領及びガルシア・コレイア副首相は、アデシナ・アフリカ開発銀行総裁を迎え、対カーボベルデ投資について協議。(5日 大統領府Facebook)
- 6日、UNDPが公表した人間開発指数に関する報告書にて、カーボベルデは135位に位置づけられた(前回は131位)。(6日 Expresso das Ilhas)
- 6日、レリシュ国防大臣はギリシャを訪問し、同国の国防大臣と軍事訓練の協力関係促進について協議。(6日 国防省Facebook)
- 14日、コレイア・エ・シルヴァ首相はスペースX社と、同社のカーボベルデ市場への参入と将来の協力について協議。(15日 Opais CV)
- ヘリテージ財団は2025年経済自由度指数を公表し、カーボベルデは世界40位、サブサハラアフリカで3位に位置づけられた。(18日 Expresso das Ilhas)
- コレイア・エ・シルヴァ首相がカーボベルデ独立50周年を記念して27日から29日まで世界銀行の招待によりワシントンを訪ねることが公表された。バンガ世界銀行総裁、ゲオルギエバIMF専務理事との会談が予定されている。(25日 Expresso das Ilhas)

ガンビア

- 国立芸術文化センターは、在ガンビア中国大使館の支援により、5人のガンビア人テラーが、中国繊維大学で開催される職業訓練プログラムに参加することを公表。(12日 The Point)
- 17日、バロウ大統領は、西海岸と大バンジュール地方の100万人を超える住民への水供給事業の開始式に出席。同事業は5, 910万ユーロに及び、フランス開発庁の支援で実施される。(19日 The Point)

ギニアビサウ

- エンバロ大統領は6日から10日にかけて、ベラルーシ、ロシア、大阪を訪問することを公表。9日にはモスクワで対独戦勝記念パレードに出席し、10日大阪では大阪・関西万博2025のナショナル・デーに出席する。(6日 O Democrata)
- 6日、ギニアビサウとEUは、民主主義の逸脱との理由で10年以上中断されていた対話を再開した。同国の発展に向けた投資強化を目的とする実務者会合を開催。(7日 asemana)
- 12日、世界銀行は財政ガバナンス強化と公共サービスの改善を目的として、ギニアビサウに900万ユーロを拠出することを公表。(12日 DW)
- 20日、中国の企業グループがビサウを訪問し、鉱業、漁業、エネルギー、農業、医療、貿易等の分野で6千億FCFAを超える投資を実施することを表明。(21日 AG)
- 20日、エンバロ大統領は、同国の婚姻の最低年齢を25歳に引き上げたと発表。全国の子供を学校に通わせるべきと主張し、女子の早婚を止めるよう発言。(21日 LUSA)

(注) 本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの「報道」を当館限りでまとめたもの。

(了)